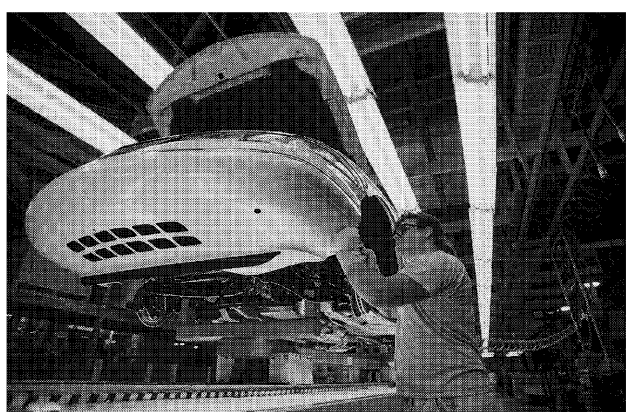


自然光に最も近い蛍光灯

「ほんものの色」が 微妙な色の違いを識別!!



VITA-LITEは中近紫外線から可視光線にかけてCIE(国際照明委員会)が標準化した平均正午の自然光(色温度:5500ケルビン)の分光分布に近似するよう設計された自然光に最も近い蛍光灯です。

●詳しくはお問合わせまたはカタログをご請求下さい

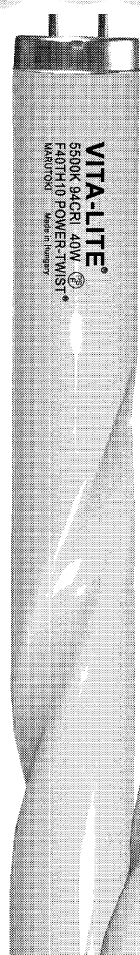
輸入元・総発売元: 株式会社 マルトキ

〒171-0051 東京都豊島区長崎2-31-5

TEL:03-3974-5601 FAX:03-3972-7291

http://www.marutoki.com

製造元: 米国LS社(DT社生産設備を引き継いだメーカーです)



管径 $\phi 32.5$ mm
従来品 40w
ラピッドグロー 兼用型
※旧トルーライトの後継品です。

管径 $\phi 25.5$ mm
新製品 32w
HF器具専用

まぶしさが無く
目に優しい光

ユニークなツイスト管

24000時間の長寿命※

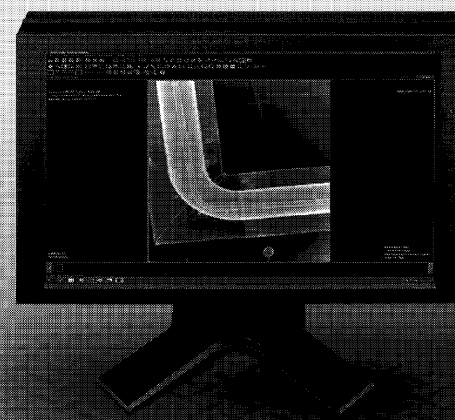
※40w/32wの場合。但し保証値ではありません。

用途は印刷、自動車、医療、鉄工、電気、農業など色の品質管理、選別をはじめ長時間使用の作業現場に最適です。幅広い用途におすすめします。

FUJIFILM

史上最高画質FCR、誕生。

— 富士フィルムがデジタルRTの限界を超えていく。 —



革命的な鮮明画像を実現

SNR・空間分解能・濃度分解能が
ハイレベルで調和。

自動画像補正と簡単計測

全ての検査担当者が
簡単に最適な評価画像を作成して計測可能。

FUJIFILM COMPUTED RADIOGRAPHY
DYNAMIXTM HR²
NEW

富士フィルム株式会社

産業機材事業部 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL.03-6271-3007 さらに詳しくFCRを知りたい方へ <http://fujifilm.jp/ndt/>

従来の電磁波レーダー技術では検知しきれなかった鉄筋直下や密集配筋奥の埋設物や浮き、コンクリート厚、背面空洞などを検知可能な新たな技術を紹介する。この革新的技術を活用することにより、特に従来は防げなかった埋設物の損傷事故を防止する効果が期待される。

マイクログ波を応用し、土がほとんどコンクリート内部探知と判別し、査用電磁波レーダーがた。従来の電約40年前に誕生して、磁波レーダー降、技術開発による性能は、主に鉄筋能の向上に伴い、耐震の位置と深さ改修や設備更新工事に正確に探査おける埋設物の損傷事故を防止することを目的として開発された。防衛施設、道路、橋、アンテナから梁、鉄道、通信施設などの重要なインフラ管理を担う現場から要求される「事故ゼロ」が実現している。計測している。事故発生事例の内容を追求すると、損傷した埋設物は鉄筋直下や密集配筋の奥にあるケ

埋設物損傷事故ゼロに向けて進化した革新的電磁波レーダー技術

現場で簡単に状態確認

能となるため、保全コ。ストの削減が導入効果として期待できる。日ー導入費用や日々の監視業務が無駄になることISO18436-2となく、現場で継続的の技術者が設備にける仕組となつて最適な閾値を設定する。さらに、当社はISO18436-1に基づき日本機械学会認定の振動診断技術者能。今後は防爆エリア口仕様の環境で設備の訓練機関でもあり、診断の質を支える体制が定している(図)。

旭化成エンジニアリングは回転機器の状態監視を効率化する新製品「ニアライナーP.M」を発売した。ここでは、新製品の主な特徴や顧客の導入効果などを紹介する。

従来、モーターやポンプなどの回転機器の通周波数は900、ガモニタリングは常時測た。当社は19作業員が巡回して測定するオフライン型が主流だった。ニアライナーP.Mはその中間に位置し、1日1回の自動測定によって補機からの実践経験重要機器まで幅広く対応する。

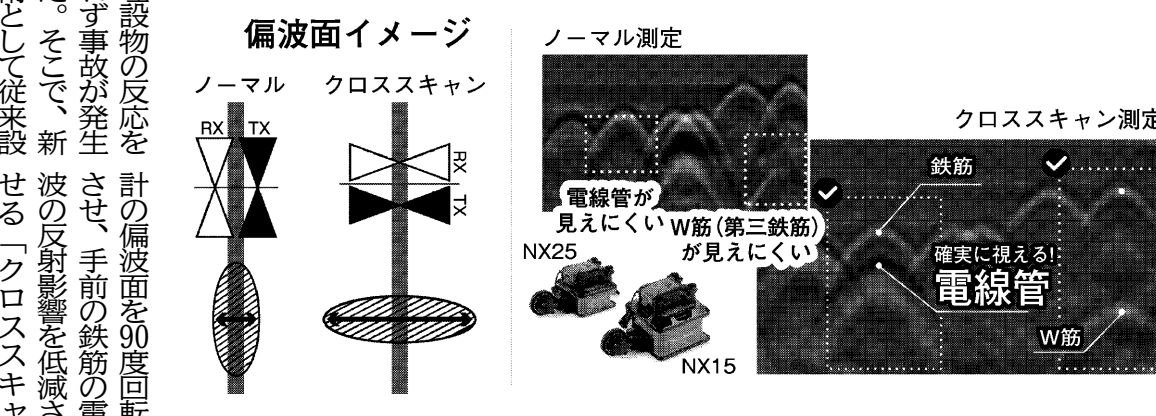
同製品は2017年発売の先代モデルの後、ニアライ配線不要の設置性を継承しつつ、電池寿命を約5年に向上した。振動センサは村田製作所のOEM(相手先)であり、自動車、医療、化学、半導体など幅広い産業での使用実績がある。

回転機器の状態監視を効率化—進化した予知保全技術

次世代メンテナンス技術

埋設管の損傷事故防ぐ

クロススキャン技術の開発により鉄筋直下の埋設物を検知



なり、埋設物の反応を計の偏波面を90度回転捉えられず事故が発生。そこで、新波の反射影響を低減させた技術として従来設せる「クロススキャン」を開発し採用した(図)。単純に偏波面を回転させるだけでなく、アンテナのフィルター特性やSN比(信号雑音比)の改善をさらに飛躍させ、多重反射やノイズを極小化することで、鉄筋直下や密集配筋奥の埋設物の検知能力が圧倒的に向上した(写真)。次ページに掲載。

KEYTEC

社長

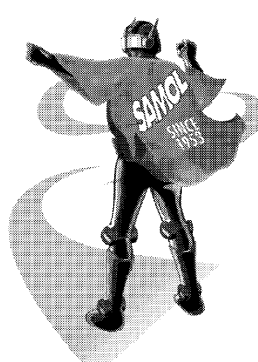
岩田 和彦

実験がはかどる卓上恒温槽。目的に合わせて選べます

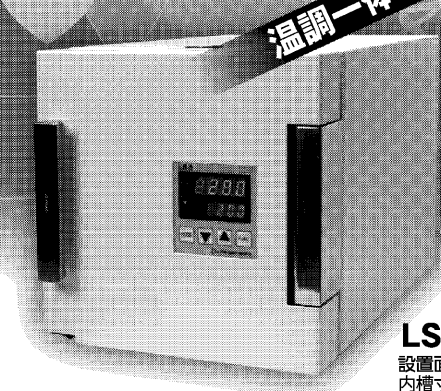
A4サイズの恒温槽

バイオチャンバー LSシリーズ

- 設置面ほぼA4サイズのLS-5 (LS-9はほぼA3サイズ)
- 19インチラックにも並びます (LS-5は2台、LS-9は1台)
- 5℃～+100℃まで設定可能 (LS-5Nは-2.5℃～+75℃)
- 1台のPCから最大31機の恒温槽を操作可
- 温度警報ほか8種類の多機能警報



温調一体の従来タイプ



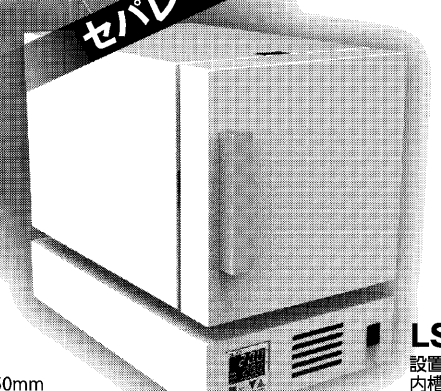
LS-5N
設置面: W215×D353mm
内槽寸法: W150×D200×H150mm

試料の様子が窓から見える



LS-5S-HG
設置面: W215×D353mm
内槽寸法: W150×D200×H150mm

セパレートの温調部



LS-5S-H
設置面: W215×D353mm
内槽寸法: W150×D200×H150mm



LS-9N-YH
設置面: W436×D353mm
内槽寸法: W300×D200×H150mm

www.nipponblower.com

バイオチャンバー

検索



メルマガ「風の便り」を
定期的にお送りします。
←こちらから登録ください。

熱対策ソリューションカンパニー
NBC 日本フロア株式会社



Check Here!

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-5-13 Tel: 03-3251-3511 Fax: 03-3251-3507 E-mail: sales1@nipponblower.com

